沖縄の現状を正しく見てもらいたい

修学旅行関係者を沖縄へ招へい

―国土交通省―

扇国土交通大臣は4日、沖縄観光振興会議後那覇市内で記者会見し、深刻な打撃を受ける沖縄観光の支援に政府として全力を挙げる考えを示した。また、修学旅行に係る国土交通省の対策として、沖縄への修学旅行のキャンセルが続いていることから、キャンセルの発生をおさえ、今後の修学旅行を確保し、拡大していくため、「修学旅行関係者の沖縄招へい事業」を行うことを表明した。この事業は沖縄県等と連携して、現場の教育関係者に沖縄の現状と魅力を確認してもらい、沖縄への修学旅行を促すことを目的としている。

修学旅行列車についての意見交換会開催

去る10月19日(金)の第3回関修委研究協議会で、修学旅行列車についてJRとの意見交換が行われた。JR側からは東海営業本部、東日本営業部・東京・高崎・大宮・千葉・水戸支社から担当者が出席。

先ず関修委会長、JR東日本・東海の挨拶、各県の状況報告、JRの来年度対応の説明の後、各県からの要望を中心に意見交換が行われた。以下はその主な要望・回答の要約である。

Q1　埼玉県北の学校の新幹線利用はできないか。現行の接続線では東京で1時間待ちとなる。最近、バス利用で奈良の南大門までは時間的には同じという。

A1　通勤・通学を主体としているので平日は難しい。専用列車は車両不足のため難しい。

Q2　東北新幹線特急料金割引をお願いしたい。那須塩原以北は加盟校は少ないが利用状況は。

A2　座席数が足りない状況なので割引には至らない。塩原以北は独自の新幹線利用である。

Q3　新横浜への臨時停車に感謝。15年度の希望として東北・山形を両線に跨って使えないか、16年度からでも実現できればありがたい。なお、房総特急の割引についてもお願いしたい。

A3　東日本としてもアクアラインの利用は歓迎している。房総特急の割引は通勤時間帯であるためそういう状況にない。臨時はB時間帯に合わせて1日1本程度は組める。山形・東北については車両不足の状況にあり臨時は組めない。定期利用は200人以下であれば何とかなるかも知れない。後で検討したい。

実施時期は11月中旬から12月中旬にかけて、修学旅行の対象となる校長、教務主任、PTA会長等約100人から200人を2泊3日のコースの現地視察とセミナーを予定している。日程で沖縄へ招待し、

身の回りのリサイクル等最新技術を紹介

―環境学習にも最適―

(財)機械産業記念事業団(TEPIA)では、「循環型社会を目指す新技術展―豊かなエコライフの実現に向けて―PART1」を開催している。私たちの身の回りのリサイク過程の説明や実体験をはじめ、新世紀の社会の成り立ちを目指す3つのR技術(Reduce：廃棄物の発生抑制・Reuse：部品・製品等の再使用・Recycle：廃棄物の再資源化)と最新のエコプロダクト技術をわかりやすく紹介している。

□開催日時　2001年9月14日(金)～12月14日(金)、入場無料、平日10時～17時、土・祝日10時～18時、日曜休館

□開催場所　TEPIA(機械産業記念館)1F

□所在地　東京都港区北青山2―8―44、営団地下鉄銀座線外苑前駅下車・徒歩3分

□問合せ先　TEPIA展示事務局　03―5474―4392

URL　http://www.tepia.or.jp/

研究・体験旅行の成果と課題(1)

―修学旅行の総合的な学習を通して―

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
教諭　田中　譲

修学旅行は学校行事の中でも学校外で行われるものとしては、特異な存在である。しかし、その教育的な価値を明確に位置付けられているわけではなく、これまでの慣習から観光地巡りであったり、スキー訓練のように学校での学習とは異なった学習内容が多かった。近年、こうした反省にたって、離島での体験学習なども増えてきているが、それとても日常の学習活動との結びつきが薄いものが多い。そうした反省を踏まえ、東北、北海道を中心とした、7日以上の修学旅行を実施してきた。新しい宿泊行事の創造とその総合学習化について提案したい。

キーワード　修学旅行　課題解決的学習　研究・体験

Ⅰ　はじめに

修学旅行の思い出はとたずねられると、夜を徹して話し合ったり、こういういたずらをした、という話をよく耳にする。そして昼のバスや観光地での印象については、活動的な話題が少ない。そのような旧態とした修学旅行の反省から、近年スキー訓練や、離島での体験を重視した修学旅行が増加している。

本校でも創立以来、東北、北海道を中心とした、7日以上の修学旅行を実施してきた。

当初は北海道そのものが珍しく、旅行そのものが感動的なものであったが、経済成長や情報化が進んだ結果、感動も薄れ、旅行の意義を問い直す必要性が生じた。そこでさまざまな検討を加えながら、基地方式連泊型で、ファームステイや登山、湿原観察などを含む修学旅行が確立された。しかし形態が大きく変わらないため、次のような問題点が指摘されるようになった。

①生徒の知的好奇心が低下し、生徒と教官の双方にとって、旅行が知的好奇心を揺さぶるものでなくなった。

②修学旅行の行き先や形態のマンネリ化。

③集団で行く旅行形態の意義を中心とした修学旅行見直し論の台頭。

こうした問題点を解決する目的で、修学旅行検討委員会が設置され、4年の歳月を経て修学旅行の検討がなされ、新しい形態の旅行「研究・体験旅行」が考え出された。

今回その取り組みを紹介するとともに、今年で3回目をむかえたこの旅行の成果と課題を報告する。

Ⅱ　「研究・体験旅行」の取り組み

個人が旅行する場合、訪問先の情報を調べ、旅行期間中にどのような行程で何を見学するか、体験するかという事前計画は、綿密に立てられるはずである。にもかかわらず、学校で行われる修学旅行に関しては、その計画立案は、集団指導での効率を優先させるため、教師側からの提示に終わる場合がほとんどである。生徒の主体的な学習を促すためには、学校行事であっても学習活動、教授活動はそれぞれの工夫が必要である。

図1に示すものは、生徒の学習活動と学習内容と教授活動との関係を示したものである。生徒はさまざまな学習内容に対して、主体的な学習活動によって迫り、教師は学習内容の教材化や教授活動、学習環境の整備などでそれを支える。「研究・体験旅行」においても、こうした活動は基本となる。

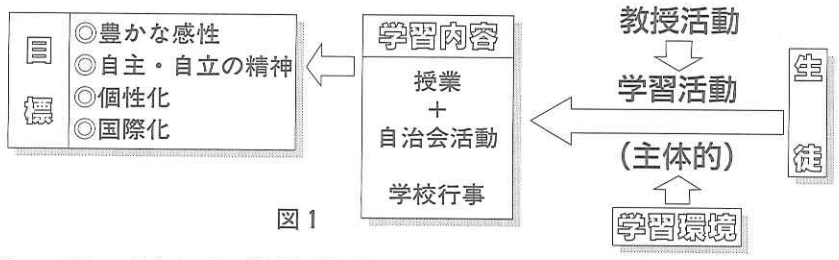


図1

「研究・体験旅行」では、

①コースの選択

②研究テーマの決定

③現地での調査活動

④報告書の作成

などで、生徒の主体的な活動が保証される。

(1)　コースの選択

コースは北海道、沖縄(西表島を含む)、インドネシアの中から、生徒に選択させる。それぞれのコースの特徴と参加人数は、次の通りである。(表2)

(2)　研究テーマの決定

生徒は訪問先では研究テーマを持って巡検するが、研究テーマを決定するためには、事前研修を含め、1年近くの準備をかける。

方面決定後、旅行先の文化、自然、歴史などについて、それぞれ5～10程度のテーマを提示し、それについて調査し発表する時間を設ける。この中で生徒達は、訪問先の概要を知るとともに、課題を解決する学習活動を体験する。こうした活動のまとめとして、1年次の終わりに、外部講師による講演会を設けている。

表2　教師

	テーマ	生徒数	付添い教師数
北海道	自然との共生	90	6
沖縄	平和学習と自然	40	3
インドネシア	異文化体験と国際交流	40	4

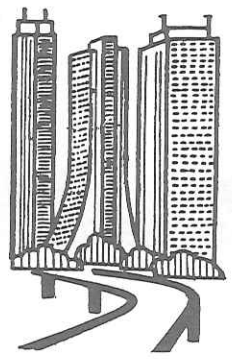
2年次では、1年での活動を生かしながら、インターネットなどを参考にして、現地での研究テーマを決定する。て学習活動の単位は3から7人のグループが中心となり、それぞれには指導教官が割り当てられ、生徒の活動が円滑に運ばれるように指導する。担当教官は、研究テーマの決定、現地での活動、旅行後の報告書作成までを指導する。

生徒は、自分達の決定した研究テーマの現地の調査方法、内容を調べるとともに、担当教官とのやり取りを通じてそれらを具体化していく。例えば、釧路川をカヌーで下りながら、湿原を観察するグループでは、カヌーの事前体験学習を必須とするが、そこには担当教官も付き添って、カヌー技術の習得から始まる。こうした過程で、教師と生徒との交流が図られる。

(3)　現地での活動

訪問先の条件によっての活動は、概ね生徒の自主性にゆだねることが可能である。しかしインドネシアの場合、安全性を考慮すると、その活動内容は教官側からの提示が多くなる。いずれにしても、訪問地の概観を知るための選択コースと、巡検のための研修コースの二つのコースを設定した。このうち、生徒の自主性が発揮されるのが研修コースにあたる。例えば、馬産牧場をテーマとするグループでは、毎朝6時に起きて、3日間列車で牧場までかよったり、ファームステイを選び、さまざまな体験を通して、畜産について調査するグループなどがある。こうした研修方法を現実化していくことも生徒の主体性に任せられる。

首都東京を見て、何かを！



東京ドームもすぐ近く
お泊りは　都心の
経験豊かな
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-3813-9381

楽しみながら歴史が体験できる大型テーマパーク。

株式会社時代村では、4つの時代村を体験学習ができる「礼節研修道場」と位置づけています。日本人が誇りとしていた美徳や作法。礼節がひとつの文化として確立した江戸時代に学ぼう、を合言葉に時代村全体を、目で見、肌で感じ、楽しく学べる施設として、教育にご利用いただけるよう、時代村を運営しています。

日光江戸村 0288(77)1777
登別伊達時代村 0143(83)3311
伊勢戦国時代村 0596(43)2300
加賀百万石時代村 0761(75)1777
東京案内所 03(5802)1777／大阪案内所 06(6394)4638／名古屋案内所 052(933)1085／札幌案内所 011(222)3080

海外修学旅行

国際理解・交流のための基礎知識

もっと知りたい日本のことを。
もっと知って欲しい台湾のことを。

台　湾

近年、海外旅行の実施に関しては、青少年の国際交流の面からも、感性豊かな年代に異文化に接することによる人間形成への影響等から見ても、その重要性が強く認識されております。
長い年月をかけて築かれた日台間の友好関係は、台湾の若い世代にも強く引き継がれています。学校における第２外国語の授業では、日本語を選択する学生が圧倒的に多く、彼らにとって日本は非常に魅力ある身近な存在なのです。しかし、日本の若い世代の台湾に対する「認識」は残念ながら大変さびしいものと言えます。私たちは少しでも多くの日本の若い世代に「台湾」を体験して欲しいと考えています。地理・文化・治安そして受け入れ態勢等、各方面でのサポートが充実した台湾は、修学旅行地として最も恵まれた地であると確信し、関係者一同、皆様のお越しをお待ち申し上げております。

台湾観光協会東京事務所　所長　林俊慧 Lin Jiunn-Huey

□データ

面積	約３万６千平方km
人口	2,231万人(2001年３月現在)。政治・経済・文化の中心台北市は人口約265万人。
言語	公用語は中国語(北京語)。台湾では「国語」として、学校教育や公の場で使われている。また、方言である閩南語(台湾語)や広東系の客家語を話す地域もある。
通貨	ニュータイワンドル(NT$=元又は新台幣)

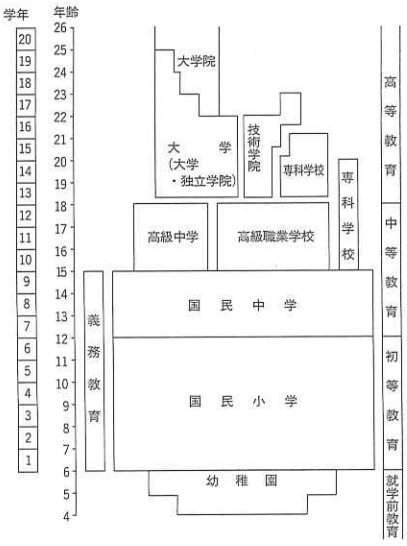
□教育旅行受入れ制度

海外教育旅行の最大のポイントは、異文化のなかに生きる人々との直接的な触れ合いです。
学校訪問には、授業参観、双方の学生によるパフォーマンスの交換、交流会などさまざまなプログラムが考えられます。
交通部観光局(日本の国土交通省観光局にあたる)は、学校レベルの国際交流を積極的に推進していくために、教育部(日本の文部科学省にあたる)と協議を行い、海外校との交流を希望する公立・私立約364校が受入れに理解を示しています。

【受け入れ対応】

学校交流を組み込む場合は、交通部観光局若しくは(財)台湾観光協会を経て、台湾の学校サイドに打診し、同意を得た上で回答を行うことも可能です。また、学校だけでなく企業見学を希望の場合も同様にご相談下さい。

台湾の学校教育



□受入れ学校紹介

台北市立成功高級中学校(台北市)
73のクラスと3,500名の生徒数(2000年10月現在)を擁する台北市でも有数の進学校です。
IT学習と語学学習も非常に進んでおり、コンピューターを使った授業の導入、第２外国語学習も熱心に進めています。国際交流に対する考え方は非常に積極的で、シンガポールとの間で双方向の交流(ホームステイを含む)を行っています。また、日本語熱も相当なもので、第２外国語として日本語を選択したいと希望する生徒数は定員５クラスの枠をはるかに超えています。

○受入れ学校(抜粋)
台北市立建国高級中学校/台北市立第一女子高級中学校/台北市立復興高級中学校/台北市私立強恕高級中学校/台北市私立泰北高級中学校/高雄市立高雄女子高級中学校/高雄市立中正高級工業職業学校

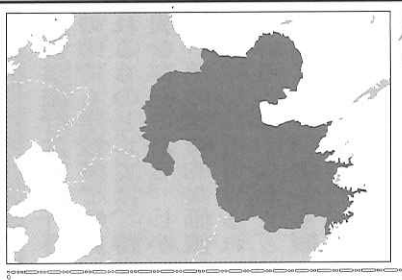
台湾の高校の年間予定表

月		年間予定
9	前期	始業
10		第１回目テスト(下旬)
11		
12		第２回目テスト(下旬)
1		第３回目テスト(下旬)
2		冬休み
3	後期	第１回目テスト(下旬)
4		１週間ほどの春休み
5		第２回目テスト(中旬)
6		第３回目テスト(下旬)
7		終業・夏休み(３年生は約10日前に卒業)
8		夏休み

テスト期間は約１週間

総合的な情報の問合せ先
台湾観光協会東京事務所　Tel 03-3501-3591　Fax 03-3501-3586

参考資料：諸外国の学校教育＜アジア・アフリカ・オセアニア編＞文部省編
資料・写真提供：台湾観光協会東京事務所



修学旅行 最新お国じまん⑳

「観光から感動へ～大分」

大分市による修学旅行生向けの「体験学習プログラム」。文部科学省による新学習指導要領の実施に伴い、「総合的な学習の時間」に対応して作成された学習素材を、以下の通りご紹介する。
※内容についての問い合わせ先
大分市観光課／
大分市観光協会：Tel097－537－5626
URL http://www.city.oita.oita.jp/kankou/syugaku.html

弁天終末処理場・府円城跡の堀(大分市)

おすすめの体験学習・施設

『大分市体験学習プログラム』

福祉学習

【福祉作業、介護支援体験】
知的障害者授産施設での日常生活・支援方法等に関する具体的な事例をもとにした解説と、グループミーティング、軽作業（箱の組み立て・箱詰め）、車いすによる介護体験、デイサービスプログラム（スポーツ・ダンス・創作活動等）による活動を通じて交流を行い、福祉活動に対する理解を深める。

環境学習

【環境とエネルギーを学ぶ】
太陽エネルギーやゴミの処理過程を利用した発電システムによる最新施設の見学と、専門スタッフによる解説を交えながら、分別体験や資源ゴミのリサイクルについての学習を行う。環境・エネルギー問題の現状と未来についてを考える。
◎「大分県産業科学技術センター」(Tel097-596-7100)
太陽光発電システムによる新エネルギーのフィールドテスト事業について学ぶ。
期間…通年／所要時間1.5時間／人員…40～120名
◎「大分市福宗清掃工場」(Tel097－588－0113)
最新設備を誇る処理施設での公害防止・環境への配慮の取り組みについて見学を行う。
期間…通年／所要時間1.5時間／人員…40～120名
◎「ゴミ分別体験」
班別学習での分別体験によるゴミの減量とリサイクル学習。

【水の再生への取り組み】
終末処理場での汚水処理システムにより、大分市のシンボルである府内城跡の堀の水質改善を成功させた事例を参考に、水の再利用と環境理解について学習する。
蘇った堀の様子を実地に見学し、PH・CCDによる水質検査体験を行う。
◎「弁天終末処理場」(Tel097－537－5642)
昭和52年設置の公共下水道処理場。汚水処理の方法・過程と、オゾン処理、砂ろ過設備による水の再利用状況を学習する。
期間…通年／所要時間３時間（処理場見学と府内城堀での学習を含む）／人員…40名

【自然環境を守ろう】
川辺や里山林の散策を行い、生態系と動物たちのくらしの様子を学習。環境保全の重要性を再確認する。
◎「七瀬川自然公園」
大分川支流の七瀬川の豊かな自然が13.7haの親水公園として整備されており、川岸の散策や、旧河川を使って水生生物の観察などを行う。
期間…通年／所要時間1.5時間／人員…40名

【水族館を支える裏方見学】
◎「大分生態水族館マリーンパレス」(Tel097－534－1010)
通常は入れないバックヤードから、魚の生態や飼育方法について見学し、水族館の運営を支える裏方の視点から体験学習を行う。参加者全員による魚の餌付け体験にも挑戦する。
期間…通年／所要時間１時間／人員…20名×２グループ／費用…一人300円(テキスト代)＋別途入館料

文化学習

【大分の郷土料理体験】
◎「大分市コンパルホール」
大分ふぐ、関アジ、関サバ、とり天、やせうまなど、大分の郷土料理にまつわる講話と、調理・試食体験を通して食文化を体感する。
期間…通年／所要時間３時間／人員…40名／費用…一人500円(材料費＋昼食代)

大分郷土料理体験

歴史学習

【遺跡発掘体験】
大分市内の下郡・横尾地区の、弥生時代から現代に及ぶ複合遺跡で、発掘調査技師ら専門家による指導のもと、発掘作業を体験する。
◇実際の発掘調査に参加し、調査の意義、方法を学ぶ。
◇出土遺物に実際にふれて、古の人々の生活についての理解を深める。

その他、県内情報全般について：
大分県商工労働観光部観光振興課：Tel097-536-1111（内線3304）
大分県東京事務所：Tel03-3501-0261

ドキドキワクワク新発見！産業を学ぶ。歴史を学ぶ。
愛知・名古屋の遊学・修学旅行

愛知・名古屋修学旅行誘致促進協議会
〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目4番39号
愛知県中小企業センター1階
社団法人愛知県観光協会内
TEL.052-581-5788 FAX.052-581-8645

学びランド東北

自然や歴史・文化など、「体験学習の宝庫」東北。
日頃、体験できない”生きた学習”で、
個性溢れる夢を
たくさん咲かせてください。

東北地方修学旅行誘致実行委員会

青森県文化観光推進課	〒030-8570 青森市長島1丁目1-1	TEL.017-722-1111
岩手県観光課	〒020-8570 盛岡市内丸10-1	TEL.019-651-3111
秋田県観光課	〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1	TEL.018-860-2265
宮城県観光課	〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1	TEL.022-211-2822
山形県観光振興課	〒990-8570 山形市松波町2丁目8-1	TEL.023-630-2373
福島県観光交流課	〒960-8670 福島市杉妻町2-16	TEL.024-521-7287

宮城県・旧登米高等尋常小学校